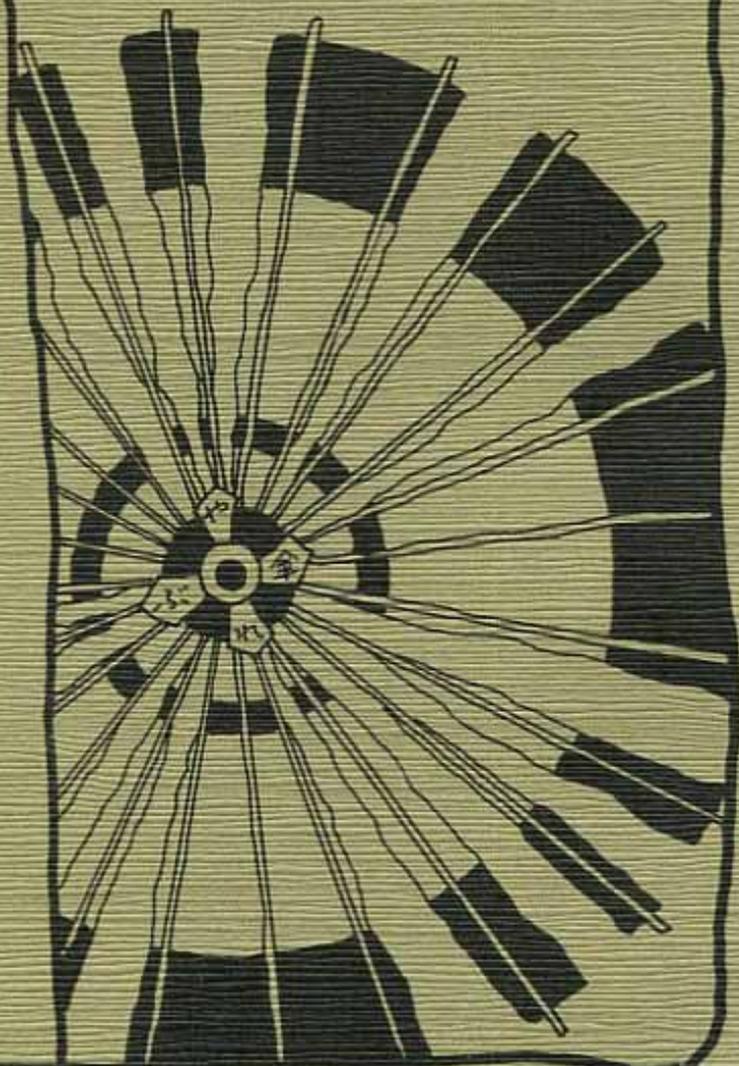


やぶれ傘



八十号

二〇二四年十月

鏡戸を塗り替へてゐる秋の昼 根橋宏次

雲なきにしもあらずかな曼殊沙華 大鳥英昭

居酒屋の扉手で引く無月かな きくちきみえ

芋の葉に時雨気配の風吹けり 廣瀬雅男

水の面につんと波紋や曼珠沙華 丑久保 勲

本堂へ一直線の道の秋 白石正躬

箱庭に並ぶ電信柱かな 瀬島酒望

石垣に雲母うんぼひかれり秋の風 藤井美晴

秋涼の浜に足あとと虚貝 安藤久美子

鷹の羽の並び立つ紋盆提灯 久世孝雄

雨空の明るみはじめ稲の花 渡邊孝彦

終バスを降りて家まで虫時雨 國保八江

背を向けてゴリラ動かめ暑さかな 松村光典

銀河濃し夫の机に若菜集 忽那みさ子

町長の声のゆらゆら海開き 黒木東吾

抄 集 句 傘 紀 大 崎 夫 選

ヘルメットをころがし商職トクの昼寝かな 小巻若菜

通りまでラードの臭ふ残暑かな 小山陽子

ジョギングや汗の背中の遠さかる 齋藤朋子

名ばかりの国道小さき栗の秘 齋藤 博

兄弟は二人となりて冷や奴 時田義勝

黒玉子つるりとむけて雲の峰 貫井照子

遠火花流木座りここちよく 松本正生

佃島くろがねもちの花は夾に 村田 武

夕立のあとの匂へる田圃道 秋山信行

海ほほつき鳴らす葉山はなやまの海辺かな 有賀昌子

蟬の羽道に散らばり休暇果つ 岩藤礼子

書きかけの父の自伝や盆の月 大野芳久

庫裡裏の甕に紅蓮たかだかと 奥田温子

払ひたる手のひらに蠅当りけり 上林富子

学校の唱歌かすかに青田風 菊地葉子

蛇穴に

大崎紀夫

砂つぽい道を港へ葛の花
亀の子のころりと水に落ちにけり
丘くだり冷けば踏み切り黍あらし
月白の盆地の町となりゐたる
秋の雲ながめてをれば大津過ぐ

ゆるやかに雲のゆく日は蛇穴に
ダンプカー行きバスが来る葛の花
山祇へ枝つきの柿供へあり
落ち口の近くに曼珠沙華すこし
稲すずめ五重塔に日はかくれ
角まがるとき鶏頭に触れにけり
猪鬣を仕掛けに車出発す

秋の昼

根橋宏次

ごつごつと手にくる魚あたり信雲の峰
立ち泳ぎして世にとほくゐるおもひ
相撲部の足洗ひ場や藪枯らし
底紅や散水栓が校庭に
ねこじやらしばかり中央分離帯
菊芋や水道管が川跨ぎ
石垣の隙に屑石初もみぢ
鎧戸を塗り替へてゐる秋の昼
ぱんと叩いて新米の紙袋
もう一步秋明菊に歩み寄る

曼珠沙華

大島英昭

バス降りし人の散りゆく夕焼空
声明の途切れ途切れに黒揚羽
古井戸を覆ふ金網葎の花
街灯におしろい花のまつ黄色
三叉路を左へとゆく田村草
雲ごとに没日のなごり秋暑し
列車来る白コスモスは咲きはじめ
水際まで四五段下り赤のまま
畑道にたうとう降られ花薄荷
雲なきにしもあらずかな曼殊沙華

無 月

きくちきみえ

からつぽの広さありけり金魚玉
風追つて風の生まるる団扇かな
水の面もに翅の水平とんぼ飛ぶ
居酒屋の扉手で引く無月かな
一列に小学校の案山子かな
蜻蛉の姿くられます水の照り
台風の端にある雲車窓より
植栽は楓マッシュョン完成す
髪染めてきて踏んでゆく栗の毬
茄子にトゲ胡瓜にトゲや精霊馬

芋の葉

廣瀬雅男

更けてなほ踊り太鼓の聞こえ来る
手の届くところに鳴けり秋の蟬
虫の鳴く菜園に鋤打ちにけり
鱒飛んで静かなりけり船溜り
花咲かせつつ胡麻の実の熟れにけり
切り株を縁どるやうな茸かな
雌鶏のくくくと鳴けり秋時雨
椋鳥の群の渦巻き渦を解き
芋の葉に時雨気配の風吹けり
ななかまど山の低きを雲走る

夜の秋

丑久保勲

ガリガリとラジオにノイズ積乱雲
ずり落ちし眼鏡を直す草いきれ
蟻の列厨のペットボトルまで
夏霧に巻かるる径に飴の紙
指で持つ鉛筆削り夜の秋
町工場の鎖クレーン紅芙蓉
丸善を出れば夕暮れ秋兆す
着陸の機影近づく鰯雲
水の面につんと波紋や曼珠沙華
溝川へ傾ぐ金網曼珠沙華

道の秋

白石正躬

祭りあと鴉集まるところかな
本堂へ一直線の道の秋
杉木立奥に秋の日差し入りて
裏庭におりて桔梗を剪りにけり
川水で手を洗ひをる秋の空
きりぎりす浴後の風の来たりけり
歩き来て昼餉広げる牧の秋
カラカラと無人リフトは秋空に
土手に出て月みる人にまじりけり
稲の穂をなで行く風にあたりけり

箱庭

瀬島洒望

凌霄花や道を急がぬ猫のみて
夏雲や医師像の手に試験管
艶々とした蟬の殻拾ひけり
畦を行く軽トラツクや稲雀
底紅や鐘楼横に別の鐘
箱庭に並ぶ電信柱かな
坐りよき柿をテーブル中央に
やはらかき青毬栗を拾ひけり
交番に五人の巡查秋祭
鉤裂きを手縫ひしてゐる夜長かな

秋の風

藤井美晴

せせらぎやすぼみかけたる白むくげ
閑伽桶の持ち重りたるあきあかね
秋暑し五百羅漢を巡り来て
石垣に雲き母らひかれり秋の風
薄紅葉短き和気ノ清麻呂伝
しなやかに揺れ山蘆忌のあをすすき
もらひ来しむかごを少し垣に蒔く
陶土搗く唐白の音櫛もみぢ
木の実落つ昨日の雨の水溜り
鉄塔に灯が点滅す二日月

◇ 11月・12月の句会案内

月	日	時	句会名	会場	連絡先
11月	4日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	國保八江
	4日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン	瀬島孟
	5日(水)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン	丑久保勲
	7日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	7日(金)	PM6:00	なごみ会	浦和コミセン	丑久保勲
	15日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤井美晴
	22日(土)	AM10:00	楽天会	中央公民館	廣瀬雅男
	23日(日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室
12月	1日(月)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン	丑久保勲
	2日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	國保八江
	2日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン	瀬島孟
	5日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	5日(金)	PM6:00	なごみ会	浦和コミセン	丑久保勲
	20日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤井美晴
	21日(日)	AM10:00	吟行会(下記注)	上野動物園	丑久保勲
	27日(土)	AM10:00	楽天会	中央公民館	廣瀬雅男
	28日(日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室

(注) ぎんなん会は奇数月は第1水曜、偶数月は第1月曜です。

12月21日(日)の吟行。集合は10時。集合場所はJR上野駅公園口改札口(東京文化会館の前です)。吟行地は上野動物園。句会場は滝野川会館403集会室。

◎ 連絡先 瀬島孟 ☎ 048-862-2757 藤井美晴 ☎ 0422-55-2733
 大島英昭 ☎ 048-592-5041 WEP編集室 ☎ 03-5368-1870
 廣瀬雅男 ☎ 048-443-7522 浦和コミセン ☎ 048-887-6565
 丑久保勲 ☎ 048-853-3856 WEP俳句教室 WEP編集室へ